

三浦の海洋教育ってなあに？

24日社会教育講座

三浦市社会教育講座「海洋教育講座」海洋教育ってなあに？」が24日午前10時から南下浦市民センターで開かれる。現在、受講生を募集している。対象は小学生以上で、市内在住または在勤。小学校3年生以下は保護者同伴。講師はみうら学・海洋教育研究所事務局長・渋谷絵一さんと県立Y.M.C.A三浦ふれあいの村・青木信哉さん。内容は講義とサンドアート。定員は先着順で20人。筆記用具、カットナイフ、新聞紙持参。

参加費は材料費の350円。みうら学は三浦の産業、歴史、文化、地理など三浦

の素材を活用した教育活動の総称で、みうら学に関わる学習は小中学校では総合学習で取り入れられることが多いという。また、同研究所が掲げたのが海洋教育の充実で、ここ数年取り組んできた東大三崎臨海実験所と連携した海洋教育のステップアップを図っていく。研究所の活動を支えるのが日本財団からの助成金。少なくとも3～4年間は助成される見通しで、将来的には自主独立型の研究所を視野に活動していくという。

同研究所の設立は平成28年度重要事業の一つで、「一体感を育む人材育成」の中で海洋教育カリキュラムの開発や教職員対象の研修会などを実施していくとしている。吉田市長は平成28年度施政方針の中で「三浦の海は世界一生物種が豊富といわれている。豊かな海に親しみ、海を知り、海を利用する三浦ならではの教育を通じて郷土・三浦を愛するみうらっ子を育てたい」と意欲を示している。

詳しい問い合わせと申し込みは同センター（電話888-0040）まで。

火の用心

海洋教育の取り組みを解説したリーフレット

